

女性未来育成センター かわら版



平成25年11月7日発行

発行:愛媛大学ダイバーシティ推進本部女性未来育成センター

<http://hime.adm.ehime-u.ac.jp>

TEL/FAX 089-927-8602 E-mail hime@stu.ehime-u.ac.jp

一情報共有で女性支援の発展を一 【女性支援WGリーダー 野本ひさ(学生支援センター)】



女性支援WGは愛媛大学3キャンパス(城北・樽味・重信)で行われているそれぞれの特徴に応じた女性支援企画を推進するとともに、これまではキャンパス独自で行われてきた先駆的・ユニークな企画を他キャンパスでも共有し、さらなる女性支援の発展を狙ったWGです。

樽味キャンパス(農学部)には古くから草の根的に女性教員の集いの会が催されており、数少ない女性教員が孤立せず生き生きと働けるようなピア・サポートが行われてきました。重信キャンパス(医学部)では今の医師不足解消のため、「地域のマドンナドクタープロジェクト」によって女性医師の離職を食い止めることが期待されています。他にも「あいサポート」では医師だけでなく、医学部ではたらくすべての女性ー女性医師・研究者支援組織として活動しています。

このようにこれまでは独自に行われてきた女性支援企画を全学に情報発信し、今後さらなる男女共同参画意識の啓発と多様な生き方・働き方の実現を願い、女性支援WGは活動をしていきます。

学内の女性支援 & 意識改革への取組の紹介

各部署の取組を女性未来育成センターにお知らせください! 随時ご紹介いたします。

医学部附属病院

地域のマドンナドクター養成プロジェクト

(兼務センター員: 浅野水辺)

「地域のマドンナドクター養成プロジェクト」とは出産や育児で医療の現場からの離職を考えている、または離職せざるを得なかった女性医師の方々を病院長と愛媛県医師会が連携して支援するという制度です。「屋根瓦式メンター制度」で女性医師、研究者のキャリア支援を行っています。

詳しくはこちら→<http://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/kenshu/madonna/>

農学部

教員同士で交流会 & ネットワーク作り

(副センター長: 柿原文香)

農学部の女性教員の人数は少ないものの、パイプが太い! その秘密の一つに、2-3か月に一度開催するランチ会があります。新任教員の歓迎やお互いの親睦を深めるだけでなく、ストレス発散、仕事へのやる気にも一役も二役もかっています。また、女子事務系職員と一緒に納涼ビアガーデンや忘年会を開催し、樽味キャンパスでの親睦を深めています。

教育学部

新入生セミナーで男女共同参画を啓発

(兼務センター員: 川瀬久美子)

女性未来育成センターのスタッフが教育学部の新入生セミナーで講義をしました。「男女共同参画」という言葉は知っていても、その内容や今の日本の現状を知らない学生がほとんど全員でした。これから女性の登用がどんどん進んでいく社会に出る学生の意識改革はとても大事なことだと思います。

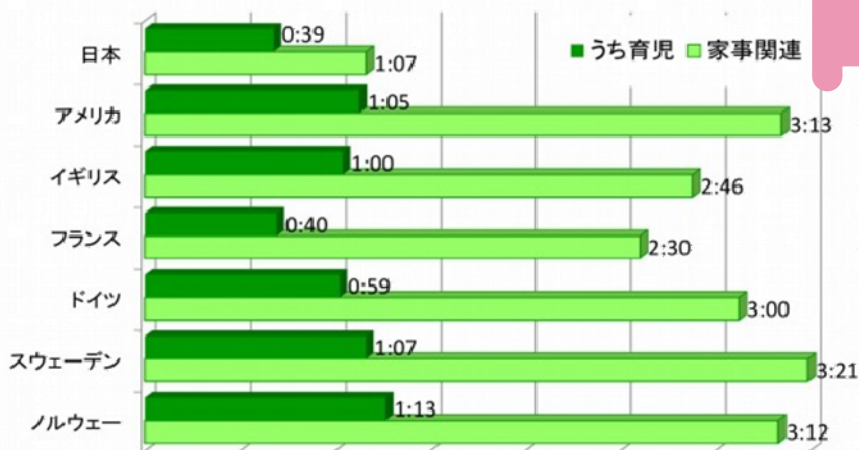


これらの情報はセンターのホームページにも掲載しています。

数字でダイバーシティ☆①

夫婦円満のために

6歳未満児のいる夫婦の夫の家事・育児時間(1日当たり)



(備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men"(2004).
Bureau of Labor Statistics of the U.S. "America Time-Use Summary"(2006)
及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)より作成。
2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の時間である。

「イクメン・カジダン」という言葉がよく聞かれるようになり、日本でも男性の家事・育児への参加が進んでいるのではないかと思いきや、世界的に見ると全くそんなことはないという悲しい結果。日本でも20代、30代の男性には家事への参加意欲はあるようですが、40代以上の男性にはその意識は薄いようです。しかしご注意を。今日本では3組に1組が離婚しています。その中でも熟年になってからの離婚には妻から

の離婚が多く、その原因の1位に「夫が家事を手伝わない」ということが挙げられるという調査があります。仕事人間で一生懸命働いた結果、定年後、家庭には味方がいなかった…なんてことにもなりかねません。働くのは大事なことです、家庭も大事です。仕事が忙しくて家事に参加する時間が取れないなら、せめて家事をしている人に「ありがとう」の一言を。家事をする側にとって一言あるのとないのとでは全然違います。

でも家事に参加しない側にも言い分はあって、「家事をすると返って文句を言われる」ということです。掃除が雑、洗濯物のたたみ方がちがう…など。確かに、せっかくな家事をしても文句を言われたら気持ちも萎えます。

月並みですが、何でも「やってもらったら感想よりもまず感謝」という気持ちがお互いに大事なのではないのでしょうか。夫婦の幸せのカギはそこにあるような気がします。

愛媛大学 くるみん取得!

女性未来育成センターへおいでませ☆

愛媛大学は平成25年8月28日付けで「くるみん」を取得しました。「くるみん」とは厚生労働省によって認定された、少子化対策を積極的にい子育で支援など一定の基準を満たした企業や法人などに交付される認定マークの愛称です。



「くるみん」取得は愛媛労働局のホームページに「パパ・ママ育休プラス」という制度を利用して育休を取られた平尾先生の紹介とともに掲載されています。

※紹介ページは「いまやろ!くるみん 愛媛大学」で検索!!

女性未来育成センターとは女性研究者の支援をするべく立ち上がったセンターです。今年度より男女共同参画室を取り込み、活動の幅を広げています。センターは教育学部の4号館3階にあり、センター内は内装も雰囲気も明るいです。活動として女性研究者支援、男女共同参画の推進、相談室の開放をしていますが、ランチタイムにはおいしいお店の話などいろんな話をしています。なんか最近しゃべってないな〜と思ったら一度しゃべりに来てください。午後からの元気を一緒に作りましょう!



編集後記

枝葉末説

上の記事にもありました男性の家事。うちは基本的に洗い物は夫がします。先日お皿に泡が残っているのを見てしまい、指摘するべきかどうか迷ったのですが、結局何も言わずじまい。

センターにてその話をしたところ、「泡が残ってて、死んだっていう話は聞かない」というお言葉が。……確かに!

頑固な自分ルールが家事にできていたようです。外国では食器に泡が残っていてもさほど気にしないそうです。思わぬところで世界的に少数派かもしれないということを知られました…

とりあえず、夕飯直前に帰ってきて、夕飯直後に洗い物をする夫にまずは感謝をするようにします。(むー)

パパ・ママ育休プラスとは??

父母がともに育児休業を取得する場合、休業を取れる期間を延長するという制度です。通常1歳までですが、この制度で1歳2か月まで可能になりました。



メールマガジン配信

女性未来育成センターの取り組みなど様々な情報をお届けしています。

配信希望の方はこちらまでご連絡ください。

⇒hime@stu.ehime-u.ac.jp